

消化器内科に過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 悪性肝門部胆管閉塞における術前初回インサイドステントの検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 栗谷 将城・北海道大学病院 消化器内科 講師

[研究の目的]

悪性肝門部胆道閉塞における初回内視鏡処置時に行われる胆道減圧のためのインサイドステント（胆管内にプラスチック性の管を埋め込む処置）と経鼻胆管チューブ（胆管内に鼻を通してプラスチック性チューブを留置する処置）の有用性と安全性の差異を明らかにすることにより、治療の向上に役立てる

[研究の方法]

○対象となる患者さん

胆道癌の患者さんで、以前に胆管内への内視鏡処置を受けたことがなく、2011年1月1日から2024年8月31日までの間に当院で初回の内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（胆管内に器具を挿入して胆管の評価を行う内視鏡検査）を受けた後に根治的外科切除術を受けた方。

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査時18歳以上の方。

○利用する情報

以下について、2024年12月31日までの情報を利用させていただきます。

診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療歴、症状、全身状態、生存情報、検査結果（血液検査、画像検査（CT画像、内視鏡画像、MRI画像））、内視鏡処置合併症、手術方法、手術合併症

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2024年8月頃)～2026年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されま

2024年12月21日（第2版）

すが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 消化器内科

担当医師：杉浦 諒

住所：北海道札幌市北区北14条西5丁目

電話：011-716-5918 FAX：011-706-7867